年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科 保健体育　　科目 保健

教　科： 保健体育　　科　目： 保健　　単位数： 1　単位

対象学年組： 第 2 学年　A 組 ～ B 組

教科担当者： （ A 組 ： ） （ B 組 ： ）

使用教科書： （ 現代高等保健体育（大修館書店） ）

教科　保健体育　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	生涯を通じる健康１ 【知識及び技能】 ・ 生涯の各段階における健康、妊娠・出産、避妊・中絶について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 . 生涯の各段階における健康、妊娠・出産、避妊・中絶について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 生涯の各段階における健康、妊娠・出産、避妊・中絶について、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとする態度を養う。	・ ライフステージと健康 ・ 思春期と健康 ・ 性意識と性行動の選択 ・ 妊娠・出産と健康 ・ 避妊法と人工妊娠中絶 ・ 結婚生活と健康 ・ 中高年期と健康 ・ ICT機器活用	【知識・技能】 ・ 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 生涯の各段階における健康、妊娠・出産、避妊・中絶についての情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 生涯の各段階における健康、妊娠・出産、避妊・中絶についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査 答案返却			○	○		2
2学期	生涯を通じる健康２ 【知識及び技能】 ・ 労働と健康について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 . 労働と健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 . 労働と健康について、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとする態度を養う。	・ 働くことと健康 ・ 労働災害と健康 ・ 健康的な職業生活 ・ ICT機器活用	【知識・技能】 ・ 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 労働と健康についての情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 労働と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4

2学期	健康を支える環境づくり１ 【知識及び技能】 ・ 自然環境と健康、食品と健康について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 自然環境と健康、食品と健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自然環境と健康、食品と健康についてについて、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとする態度を養う。	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁、土壌汚染と健康 ・ 環境と健康にかかわる対策 ・ ゴミの処理と上下水とゴミの整備 ・ 食品の安全性 ・ 食品衛生にかかわる活動 ・ ICT機器活用	【知識・技能】 ・ 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・ 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 自然環境と健康、食品と健康についての情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自然環境と健康、食品と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査 答案返却			○	○		2
3学期	健康を支える環境づくり２ 【知識及び技能】 ・ 保健・医療・医薬品の制度とその活用、健康に関する環境づくりについて理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 保健・医療・医薬品の制度とその活用、健康に関する環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 保健・医療・医薬品の制度とその活用、健康に関する環境づくりについてについて、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとする態度を養う。	・ 保健サービスとその活用 ・ 医療サービスとその活用 ・ 医薬品の制度とその活用 ・ さまざまな保健活動や社会的対策 ・ 健康に関する環境づくりと社会参加 ・ ICT機器活用	【知識・技能】 ・ 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要である。また、医療品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。 ・ 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策が行われていることを理解している。 ・ 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 保健・医療・医薬品の制度とその活用、健康に関する環境づくりについての情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 保健・医療・医薬品の制度とその活用、健康に関する環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査 答案返却			○	○		2
							合計 35